

## 目標達成計画

作成日: 令和 元 年 11月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践、玄関の施錠、4点柵などの、安全への配慮と、行動を制限してしまう事への違いや、身体拘束の場合の3原則などの細かい理解への深める。	職員全員が身体拘束をしないケアについての、理解や意識を、深められるように、研修や勉強会、身体拘束廃止会議などでの、話し合いを通して、日々のケアの振り返りや、再度の確認を行うようにする。	施設での勉強会を通じて、身体拘束に当てはまる内容の確認をしているが、再度の周知徹底を、年間4回の身体拘束廃止会議を行っていますので、身体拘束に当てはまる可能性と共に、身体拘束がやむを得ない場合の3原則などを理解に努める。	12ヶ月
2	7	高齢者虐待防止の徹底、学ぶ、機会を持っているが、必ず全員に虐待研修が受けているのか？虐待虐待防止誓約書を毎年、理解した上での誓約書に同意が頂けているか、確認や把握をする。	1年に1回、虐待防止に関する研修を実地して、全参加を促しているが、全員が必ず参加出来る環境にあるか確認をする。	施設での研修や勉強会を、通じて職員全員の全員の理解や学べる機会を設ける。時間や都合が悪い場合での個別の虐待への理解を学べるように環境を整備する、中途採用の職員さんにも初日に虐待防止へ勉強と周知ができていますので継続に努める。	12ヶ月
3	14	同業者との交流を通じた向上、社外研修に参加された場合は交流があるが、運営推進会議や相互訪問にての交流できる、ネットワークを築たい。	地域の介護施設などとの交流も少なく、交流する事でサービスの質を向上させる取り組みを行うようにする。	運営推進会議やレクリエーションなどを通じて、同業者との交流をできるように、まずは管理者や職員さんから挨拶や、訪問などをできるように努めたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。